

# 2006年3月期決算説明資料

2006年5月12日  
川崎汽船株式会社

## A. 2005年度決算概要

# A-1. 2005年度決算概要

(単位: 億円)

		2005年度	2004年度	前期比 増減額	前期比 増減率	公表数値	増減額
売上高	連結	<b>9,408</b>	8,284	1,124	13.6%	9,250	158
	単体	<b>7,426</b>	6,587	839	12.7%	7,350	76
営業利益	連結	<b>880</b>	1,081	<b>-201</b>	-18.6%	910	<b>-30</b>
	単体	<b>567</b>	853	<b>-286</b>	-33.5%	640	<b>-73</b>
経常利益	連結	<b>886</b>	1,072	<b>-186</b>	-17.4%	910	<b>-24</b>
	単体	<b>578</b>	869	<b>-291</b>	-33.5%	650	<b>-72</b>
当期純利益	連結	<b>624</b>	599	25	4.2%	640	<b>-16</b>
	単体	<b>388</b>	490	<b>-102</b>	-20.8%	430	<b>-42</b>
配当	単体	18.0円	16.5円	1.5円	9.1%	18.0円	-
為替レート	平均	<b>¥113.09</b>	¥107.46	¥5.63安	-5.2%	¥113	¥0.09
燃料油価格	平均	<b>\$285.60</b>	\$191.71	\$93.89高	49.0%	\$283	\$2.60

## A-2. 決算の要点

< 公表比 > 概ね、予想通り。燃料油価格高とコンテナ船の一部航路運賃下落により見込みを若干下回る。

< 前期比 > 増収・経常減益・当期純利益増益

- 荷況は堅調に推移
- 不定期船、コンテナ船の一部航路で運賃市況軟化
- タンカーなどその他の事業分野の市況は総じて堅調に推移
- 燃料油高・市況悪化 > 規模拡大・コスト削減合理化効果 経常減益
- 当期純利益史上最高益達成
- 財務体質大幅改善(株主資本2578億円、DER1.08倍)
- 年間配当18円、配当性向(単体27%、連結17%)

## A-3.変動要因分析

(経常利益:公表910億円、前期1072億円 886億円)

損益変動要因	対公表比	対前期比
為替変動	1	68
燃料油価格変動	5	254
市況変動	24	110
営業規模拡大	4	80
合理化・コスト削減	0	54
その他	0	24
合計	24	186

・円ドル為替1円安/高 連結+/-12億円

・燃料単価\$10/K.Ton安/高 連結+/-27億円

# A-4. 主要経営指標ならびに船舶投資実績 K LINE KAWASAKI KISEN KAISHA, LTD.

## 主要経営指標

	2004年度 通期実績	2005年度 通期実績
営 業 CF	894億円	723億円
( 減 価 償 却 額 )	(246億円)	(286億円)
投 資 CF	344億円	833億円
フ リ - CF	550億円	110億円
投 資 額	344億円	833億円
船舶関連	547億円	1025億円
その他	189億円	125億円
資産処分(注)	392億円	317億円
株 主 資 本	1813億円	2578億円
有 利 子 負 債 残 高	2392億円	2782億円
ROE	39.6%	28.4%
ROA	18.4%	13.0%
株 主 資 本 比 率	30%	34%
DER	1.32	1.08



## 船舶投資実績

2005年度	新造船	中古船	合計
コンテナ			5隻
4000TEU	3		3
5500TEU	2		2
バルカー			21隻
Capesize	8	1	9
Panamax	3		3
Handymax	5		5
SmallHandy	1		1
Chip/Pulp	-		-
Corona	2	1	3
自動車			12隻
800台		2	2
2000台	2		2
4300台	1	2	3
5000台	3		3
6500台	2		2
LNG			4隻
スノービット	1		1
RASGAS	3		3
油槽船			2隻
AFRAMAX	1	1	2
内航近海	1	1	2隻
合計	38隻	8隻	46隻

(注) 資産処分: オペリ船の竣工時売船等ならびに投資の回収額

# A-5. 部門別業績動向

## - コンテナ船 -

(前期比増収・減益: 売上高4514億円、経常利益305億円)

- 営業規模拡大

新造船5隻竣工: 4,000TEU3隻、5,500TEU2隻

北米北西岸、東岸サービス、地中海航路増強が寄与  
積高: 265万TEU(前期比 + 7.8%増)

- 運賃率

北米航路: 横ばい

欧州航路: 往航 8%弱、復航 + 5%、合計 5%弱

大西洋航路: 往航 + 19% 復航 + 5%

アジア航路: 往航 + 8% 復航 + 4%

南北航路: 往航 4% 復航横這い

- コスト削減効果(40億円) < 燃料油高、傭船料高等コスト圧迫要因

# A-5. 部門別業績動向

## - 不定期専用船 -

(撒積船)

- 新造船17隻(注)竣工で営業規模拡大(稼働延トシ:153百万トシ、前期比+2.9%増)  
(注)ケーブ8隻、パナマックス3隻、ハンディマックス5隻、スモールハンディ1隻
- 運賃市況下落により収益低下

不定期傭船市況	2004年度			2005年度			増減率
	上期実績	下期	通期	上期実績	下期実績	通期	
170型(太平洋ラウンド)	\$53,834	\$77,084	\$65,459	\$37,333	\$38,333	\$37,833	-42%
74型(太平洋ラウンド)	\$30,667	\$36,909	\$33,788	\$18,583	\$17,900	\$18,242	-46%
45型(太平洋ラウンド)	\$22,975	\$26,909	\$24,942	\$17,200	\$16,800	\$17,000	-32%



# A-5. 部門別業績動向

## - 不定期専用船 -

(自動車船)

- 新造船8隻竣工で営業規模拡大  
(6500台2隻、5000台3隻、4300台1隻、2000台2隻)
- 輸送量増加:255万台 271万台(+6%) 三国間航路(大西洋、タイ出し豪州向け等)
- 収支悪化要因:燃料油高騰・用船料高、船舶経費増加

(単位:千台)

自動車積台数		往航				復航	三国間	合計
		北米	欧州地中海	その他地域	合計			
2004年度実績	上期	297	120	176	592	84	576	1,252
	下期	321	119	181	622	98	580	1,300
	通期	618	240	356	1,214	182	1,156	2,552

自動車積台数		往航				復航	三国間	合計
		北米	欧州地中海	その他地域	合計			
2005年度実績	上期	286	115	197	598	68	638	1,304
	下期	316	119	203	638	69	698	1,405
	通期	602	234	400	1,236	137	1,336	2,709

# A-5. 部門別業績動向

## - エネルギー資源輸送 -

- 液化ガス運搬船：各プロジェクト共合計30隻順調に進捗  
新造船竣工4隻(ラスガス 向け3隻竣工、スノービット向け1隻)
- 電力炭：基本船隊16隻安定稼働、滞船緩和、効率配船  
(積高1,301万トﾝ 1,427万トﾝ+9.7%増)
- 油槽船：堅調な石油需要を享受、市況は前期比下回るも、AFRAMAXの  
安定的稼働と規模拡大により改善  
(稼働延トﾝ2,957万トﾝ 3,098万トﾝ+4.8%増)

油槽船市況 (WS)	2004年度			2005年度			増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
VLCC (Gulf/Jpn)	111	188	150	78	138	108	-28%
8万トﾝ型 (インドネシア/韓国)	178	276	227	138	245	192	-16%
7万トﾝ型 (Gulf/Jpn)	186	279	233	203	256	230	-1%

## B. 2006年度業績予想

# B-1. 2006年度業績予想

(単位: 億円)

		2006年度 上期予想	2006年度 通期予想	2005年度 通期実績	通期 増減額	通期 増減率
売上高	連結	5050	10,100	9,408	692	7.4%
	単体	4050	8,100	7,426	674	9.1%
営業利益	連結	310	610	880	-270	-30.7%
	単体	170	340	567	-227	-40.0%
経常利益	連結	325	630	886	-256	-28.9%
	単体	180	360	578	-218	-37.7%
当期純利益	連結	240	450	624	-174	-27.9%
	単体	115	240	388	-148	-38.1%
配当	単体	9円	18円	18円	-	-
為替レート	平均	¥115	¥113	¥113.09	-	-
燃料油価格	平均	\$350	\$350	\$285.60	\$64	22.5%

- 2006年度年間配当18円、連結配当性向24%

## B-2. 2006年度業績予想のポイント

(2005F 886億円： 2006F Vision2008+計画750億円=>630億円)

損益変動要因	対前期比	対計画比
為替変動	5	20
燃料油価格変動	174	135
市況変動	239	5
営業規模拡大	143	0
合理化・コスト削減	91	0
その他	70	0
合計	254	120

・円ドル為替1円安/高

連結+/- 8億円

・燃料油単価\$10/K.Ton安/高

連結+/-27 億円

## B-3. 部門別業績動向

### < コンテナ船 > 増収・減益

荷況堅調に推移、引き締まった需給バランス継続

前期に軟化した運賃は下げ止まりの見込み

営業規模拡大・コスト削減合理化効果 < 燃料油高・市況悪化 損益大幅悪化

### < 自動車船 >

新造船8隻投入により営業規模拡大・サービス拡充 > 燃料油高 業績安定推移

### < ドライバルク >

市況安定推移、営業規模拡大(新造船23隻竣工、中古船7隻買取) 業績安定推移

### < エネルギー資源輸送 >

LNG: 新造船2隻竣工、合計32隻に拡大。

油槽船: 運賃市況堅調推移(但し、アフラマックス市況下落)、新造船4隻竣工

業績安定推移

## C. “K” LINE Vision 2008<sup>+</sup>

## 【持続的成長と安定収益体制の確立】

- 事業規模の計画的拡大を支えるための取り組み
  - 投資効果を最大化する船隊整備計画
  - 安全運航を支える船舶管理体制
  - 最適・最強のグローバル経営組織へ
  - 機動力ある意思決定のための制度・機関の再構築
- 事業環境の変化への対応
  - CSR・環境対策
  - コスト構造改革
  - リスク管理



# C-2. “K” LINE Vision2008+

## 投資効果を最大化する船隊整備計画

### 運航規模500隻体制確立:192隻、約8000億円の投資

船種	2003年 期末	2005年		2006年		2007年		2008年		投資合 計
		2004-5年 投資	未船腹	投資	未船腹	投資	未船腹	投資	未船腹	
コンテナ	64	11	77	6	83	3	86	7	90	27
バルカー	137	29	143	30	165	10	173	14	185	83
自動車	70	15	93	8	90	4	94	5	90	32
LNG	24	6	30	2	32	3	35	13	48	24
油槽船	17	3	19	4	23	5	28	4	31	16
その他	49	3	45	3	52	3	52	1	54	10
計	361	67	407	53	445	28	468	44	498	192

2006年度	新造船	中古船	合計
コンテナ			6隻
5500TEU	3		3
8000TEU	3		3
バルカー			30隻
Capesize	9	2	11
Panamax	5	1	6
Handymax	4		4
SmallHandy	2		2
Chip/Pulp	1	3	4
Corona	2	1	3
自動車			8隻
2000台	2		2
3800台	2		2
4300台	2		2
5000台	1		1
6000台	1		1
LNG			2隻
スノービット	1		1
RASGAS	1		1
油槽船			4隻
VLCC	1		1
AFRAMAX	1	1	2
LR	1		1
内航近海	3		3隻
合計	45隻	8隻	53隻

(注) 各年度の船舶投資は中古船買取も含む。

未船腹は返船・売船も考慮後の期末運航隻数。

# C-3. “K” LINE Vision2008+

## コスト構造改革

コストセーブ項目	2005年度	2006年度
運航費削減	17	46
貨物費削減	13	23
機器費・空コン費削減	10	13
船費・傭船料削減	6	7
一般管理費削減	3	2
その他	5	0
合計	54	91
(部門別内訳)		
コンテナ船事業部門(含む海外)	40	82
他事業部門(含む海外)	6	9
関係会社他	8	0

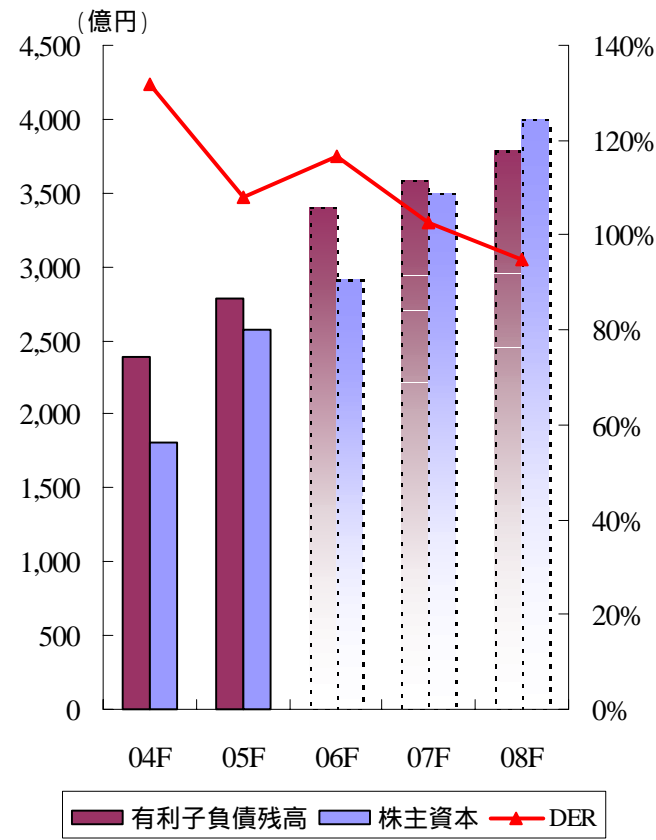
### 2006年度取り組み事項

- 新造船による高コスト傭船の代替
- ドック費用軽減のための諸策
- 長期契約・自営(ターミナル等)化による費用  
逓減
- 省エネ運航、燃料油先物ヘッジ
- 燃費効率改善(省エネ付加物、PBCF等)
- Leaf Picking(落穂ひろい)
- 全費目のモニタリングによる管理の徹底

## 主要財務指標推移

	2004年度 通期実績	2005年度 通期実績	2006年度 通期見込
営業CF	894億円	723億円	680億円
(減価償却額)	(246億円)	(286億円)	(330億円)
投資CF	344億円	833億円	1200億円
フリーCF	550億円	110億円	520億円
投資額	344億円	833億円	1200億円
船舶関連	547億円	1025億円	1300億円
その他	189億円	125億円	340億円
資産処分(注)	392億円	317億円	440億円
株主資本	1813億円	2578億円	2920億円
有利子負債残高	2392億円	2782億円	3400億円
ROE	39.6%	28.4%	16%
ROA	18.4%	13.0%	8%
株主資本比率	30%	34%	34%
DER	1.32	1.08	1.16

## 株主資本の増強



(注) 資産処分: オペリ船の竣工時売船等ならびに投資の回収額